

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                      |            |               |
|---------|----------------------|------------|---------------|
| 事業所番号   | 4291500033           |            |               |
| 法人名     | 有限会社UTASI            |            |               |
| 事業所名    | グループホーム九十九の里         |            |               |
| 所在地     | 長崎県佐世保市鹿町町下歌ヶ浦802番地8 |            |               |
| 自己評価作成日 | 平成 23年 1月 19日        | 評価結果市町村受理日 | 平成 23年 3月 22日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do">http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構        |
| 所在地   | 〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階 |
| 訪問調査日 | 平成 23年 2月 22日                       |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「安心して暮らすということ」「自分らしく生きるとということ」を理念に、入居者の個々の性格や日々の気分、機嫌その時の状況によってスタッフは、日々の生活の中でどうすればいいのかを考えながら支援している。また週1回の歯科衛生士による口腔ケアで食事状況の改善、早期の口腔内の把握ができる。(歯科治療、口内炎)

利用者のこれまでの生活の延長線上のサービスの提供を目指されており、外出や趣味、ホーム生活のあらゆる場面に利用者の「自分らしさ」が活かされたホームである。滑舌な利用者はホームのムードメーカーでもあるが、自分らしさが過ぎて他の利用者に命令された時、職員がさりげなく場面転換され双方の利用者の注意を別に向ける機転の効いた対応で、双方の利用者の「自分らしさ」は保ち、何事もかったように時は流れている。又、歯科衛生士による週1回の「マッサージ、運動、発声」など口腔ケア指導は、口腔機能の向上に大いに反映され、利用者の心身の健康維持にも貢献した取り組みである。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>該当するものに印                                  | 項目 | 取り組みの成果<br>該当するものに印   |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   |
| 57 | 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | 66 | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30,31)         | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) |    |   |

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-) です。]

| 自己              | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|-----------------|-----|---|--|---|---|
|                 |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 事業所理念「安心して暮らすということ」、「自分らしく生きるということ」をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている       | 「安心して暮らす」と「自分らしく生きる」を理念として掲げ、利用者一人ひとりのこれまでの生活の延長線上に趣味や馴染みの継続も取り入れて、安全で安心して暮らせるホームでの生活支援を目指されている。利用者に活気があり、自分の意思で行動されている場面が見受けられた。         |   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している                            | 大加勢地区に老人会がないため地区の行事(花見・夏祭り・秋祭り・公民館掃除・県下一斉清掃等)参加で交流を持っている。                | 経営者が地区の役員を引き受けられており、地域との相互関係等積極的な交流に努められている。  |   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 事業所の力を活かした地域貢献は実践していない。  |   |   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 行事報告やホームでの行事等にも参加してもらい会議内で委員の方に意見をもらったりしている。1月より推進委員が代わられるので土日の開催も考えている。 | 平成21年度に経営法人が変わり、それに伴い運営推進会議メンバーも平成23年の1月からメンバーの交代や増員があり、メンバーに現職者が多い。開催日時について「都合の良い時間等」を尋ねられ、まずは、メンバーに合わせた開催を心がけている。                       |   |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                  | 市町村合併により連絡が密に取りにくくなった。推進会議参加も合併後1度もありません。                                | 平成22年4月の市町村合併により、社会福祉協議会は鹿町事業所、地域包括支援センターは江迎・鹿町町ということで、事業所として地域包括支援センターへの働きかけをされている。又、2ヶ月に1度開催される佐世保市のグループホームブロック会議に参加され、同業者との意見交換はされている。 | 実践現場と施策の整合性を図り、地域ぐるみの課題としての取り組みや連携につながる一歩として、行政に対する事業所からのきっかけ作りの言葉かけや諦めない積極的な協力関係作りが望まれる。 |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 代表者および全ての職員が、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる                                 | 身体拘束内容について、全職員に認識度調査をされ、業務の振り返り等を通じた意識付けの取り組みで身体拘束をしないケアの実践につながれている。  |   |
| 7               |     | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 管理者や職員は、事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                            |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|---|--|--|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 管理者や職員は、成年後見制度について研修会に行ったが現在それらを活用される方がいない。                        |  |                   |
| 9  |     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得をしていただいている。           |  |                   |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営やケアに反映させている             | 家族の伝えにくい心境を十分理解されおり、利用者との面会后や変化時に、折りを見て声掛けをされている。又、状況によっては家族の在宅時訪問で利用者の様子等を伝えるなど積極的な意見交換の機会作りもされている。 |                   |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を随時聞く機会を設け、反映させている。                         | 親睦会を開催し、業務を離れた環境での意見交換の場面づくりをされている。又、経営者が変わり、意見が出しやすく、話しやすい環境でもある。                                   |                   |
| 12 |     | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 管理者や職員の勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、有給が取りやすく働けるよう職場環境・条件の整備に努めている            |  |                   |
| 13 |     | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている |  |                   |
| 14 |     | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている          |  |                   |

| 自己                       | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
|                          |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |   |  |   |                   |
| 15                       |     | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービスを導入する段階で、本人の言葉や行動に注意しが困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている     |   |                   |
| 16                       |     | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、一番いい方法をはなしあい関係づくりに努めている               |   |                   |
| 17                       |     | 初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | サービスを導入する段階で、本人と家族等がその時にまず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                     |   |                   |
| 18                       |     | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 本人を介護される一方の立場におかず、出来ることは行ってもらい暮らしを共にする者同士の関係を築いている                               |   |                   |
| 19                       |     | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族を支援される一方の立場におかず、本人のありのままの生活を知って頂くように会話する機会をつくり家族との絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている |   |                   |
| 20                       | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている(面会・お祭り・電話・手紙等)                       | 地域の入居者が多いこともあり、知人の家へ食事に出かけたり、反対に野菜や花を手土産におやつの時間を利用者と一緒に過ごされる近隣の方もある。又、趣味の三味線の弦の修理先なども利用者の記憶を基に調べて対応されている。 |                   |
| 21                       |     | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立されないように利用者同士が関わり合い、支え合えるように支援している                           |   |                   |

| 自己                              | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|---------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                                 |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                              |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている              |   |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |   |                   |
| 23                              | (9)  | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者と職員の会話のなかで一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。                                      | 利用者とのコミュニケーションや観察を通して意向の把握につながっているが、困難な場合は、本人の希望するようなことを提案して、その反応を通して本人本位に検討されている。                                  |                   |
| 24                              |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前後より一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                          |   |                   |
| 25                              |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一人ひとりの一日の生活パターンの把握残存能力、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                   |   |                   |
| 26                              | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、担当者会議、ケース会議、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者担当職員にサービス提供の見直しをしてもらい、日々の介護記録とケアマネジャー作成のモニタリングシートを照合し、総合判断の結果、見直しや継続を想定した介護計画のたたきを作り、本人や家族に確認・同意を得た介護計画を作成されている。 |                   |
| 27                              |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を24時間途切れることなく個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている      |   |                   |
| 28                              |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                               |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう出来るだけ支援している                                |  |                   |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している            | 協力提携病院に整形外科がないので最寄りの救急対応病院を利用されている。尚、医療連携につながる情報提供の取り組みとして緊急用入居者情報のファイルを作成されている。   |                   |
| 31 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内で相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している              |  |                   |
| 32 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換(介護・看護サマリー)や相談に努めている。    |  |                   |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、支援に取り組んでいる | 重度化や終末期について職員の意見を聴取されており、ほとんどの職員が「不安」を覚えていることを把握されている。職員の現状を踏まえて、不安解消につながるスキルアップの必要性を理解され、場面を通じた見極めや対応の指導を日常の業務で実践されている。 |                   |
| 34 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を年1回消防士に指導をうけ、実践力を身に付けている                  |  |                   |
| 35 | (13) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、出来るだけ地域との協力体制を築いている            | 消防署との合同訓練と自主防災訓練の取り組みを通算12回されている。ほとんど毎月、いろんな災害を想定して利用者と一緒に訓練されており、訓練を通じた疑問点等を消防関係者に伝え、指導を仰がれるなど積極的な取り組みをされている。           |                   |

| 自己                           | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |  |
|------------------------------|------|--|---|--|--|
|                              |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                          |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |  |
| 36                           | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけているがつい大声になることもある                  | 時折、羞恥心やプライドなどに関する配慮にかけられる場面があることに気付かれている。  | 利用者との馴れ合いから生じる気持ちの緩みなど業務の状態化を防ぐ取り組みに期待したい。 |
| 37                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 日常生活の中で本人が思いや希望を表して頂けるようにしているたり、自己決定できるように働きかけている                       |  |  |
| 38                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 出来る限り一人ひとりのペースを大切にし、その日の体調をみながら本人の希望にそって支援している                          |  |  |
| 39                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 本人の希望に応じてホームで散髪したり行きつけの美容院連れていきおしゅれができるよう支援している                         |  |  |
| 40                           | (15) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 食事が楽しみなものになるよう、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                                 | 利用者の食事ペースや嚥下状態、性格、相性等を考慮した座席の配置で、必要な場所で職員も一緒に食卓を囲み、声かけや見守りの行き届いた食事風景である。又、歯科衛生士による週1回の口腔ケア指導の取り組みで健全で楽しい食事の提供が維持されている。 |  |
| 41                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 食べる量や食事形態、栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力(姿勢・イスの選択)、習慣に応じた支援をしている   |  |  |
| 42                           |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとり本人の力に応じた口腔ケアをしている又週1回定期的に歯科衛生士に専門的指導をしてもらっている |  |  |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 声かけ・誘導により排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている              | 必要な方へは声かけなどの前誘導で、可能な限りトイレでの排泄支援を心がけられており、本人のできるところは自分でしてもらうなど、本人の羞恥心にも配慮されている。        |                   |
| 44 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 便秘の方が多いためトイレ使用後確認を記録し原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                      |   |                   |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 週3回の入浴は一人ひとりの希望に合わせてはいるが、入浴を楽しめるように、月4回の温泉水を使用している。                                      | 入浴拒否の人でも温泉浴だと「身体がツルツルになる」とか「温まる」、「ポカポカ気持んよか」など、喜んで入られるので、月2回配達される温泉水を、1回に半分づつ使用されている。 |                   |
| 46 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 睡眠導入剤は服用させず一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                              |   |                   |
| 47 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について薬の説明書をファイリングし、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                         |   |                   |
| 48 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                          |   |                   |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族の理解があれば出かけられるように支援している | 利用者がこれまで利用されていた店での買い物やあん摩マッサージの継続利用、行きつけの美容院でのパーマメントなど馴染みの継続支援は、在宅時と同じ延長線上の外出先である。    |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 本人がお金を持つことの大切さを理解しておられる方は、力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  |  |                   |
| 51 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている難聴の方は筆談してあげる   |  |                   |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間(玄関、廊下、居間、食堂、)季節の花や利用者作品を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 居間には季節の雛人形が飾られており、アクティビティで使う材料や道具、本やアルバム等が利用者の手の届く位置に配置され、利用者の心身の活力を引き出すための工夫につながっている。 |                   |
| 53 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるようにソファーやイス居場所の工夫をしている                                       |  |                   |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている希望に応じてベッドの位置やお部屋の模様替えもやっている | 見せていただいた居室は、利用者の心身状態や動線等を考慮したベッドや調度品の配置と持ち込まれた思い出の品々から、利用者が落ち着ける場所になっていることを伺いすることができる。 |                   |
| 55 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                     |  |                   |